

OB客が集うカフェ

斜里町・(株)丹羽設計企画

「モデルハウスとしてはもちろん、OB客と気軽にコミュニケーションできる場所を作りたかった」。こう話すのは昨年6月、地元オホーツク・斜里町にダイニングルーム「グリーンズ・カフェ」をオープンさせた(株)丹羽設計企画の丹羽豊文社長。今回は丹羽社長に、工務店によるカフェ経営の狙いと効果について話を聞いた。

気軽に家の話ができる

OB客とのつながりを保つためにバーベキュー・ビンゴゲームなどのイベントや、住まい情報を掲載したダイレクトメールの送付などを行っている住宅会社はあるものの、1年を通じて密接にコミュニケーションを取り続けることは難しい。そこで丹羽社長は、いつ

でも会って話ができる場所をOB客に提供しようという考えをもち、イベントや、住まい情報を掲載したダイレクトメールの送付などを行って、OB客以外の皆さまにも、当社が日頃どのような家づくりを行っているのかを見てもらいたいという気持ちもあつた」と(丹羽社長)と話すように、グリーンズ・カフェはモデルハウスの役割も果たしている。壁と天井は塗り壁、床は素焼きのタイルやバーナーで炙った無垢材などで仕上げ、構造材やカフェのテーブルにはトドマツの集成材を採用。外観は塗り壁と木を組み合わせるなど、環境・エコを意識しながら北歐風のデザインを表現した。



丹羽豊文社長



写真上…向かって左側手前がグリーンズ・カフェ。奥の建物は1階に入っている地元食品会社社長宅
写真下…北歐風のデザインが好評の店内

打ち合わせにも活躍

グリーンズ・カフェは1階が弁当を販売する地元食品会社の厨房と事務所、2階がカフェとミーティングルームとなっているが、ミーティングルームもユーザーとの打ち合わせで活躍している。「事務所が手狭だったこ

という会話が自然に出てくることも。丹羽社長は「スタイリッシュな内外観や落ち着いた雰囲気も好評で、特に主婦の方はずごく気に入ってくれます」と話す。丹羽社長は「スタイリッシュな内外観や落ち着いた雰囲気も好評で、特に主婦の方はずごく気に入ってくれます」と話す。

(丹羽社長)。

同社では今後、着工前にユーザーと協力業者が集まって、受注に至った経緯を説明したり、自己紹介を行ったりする「着工式」もグリーンズ・カフェで実施する予定。カフェを中心としてユーザーとのコミュニケーションをよりいっそう充実させていく考えだ。